



日銀おかやま 金融経済レポート

岡山県における企業誘致の動向

日本銀行 岡山支店
2022年2月3日

- ・本稿は、ホームページ(<https://www3.boj.or.jp/okayama/>)からもご覧いただけます。
- ・本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行岡山支店までご相談ください。また、転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。

【照会先】日本銀行岡山支店総務課（TEL:086-227-5111 <代表>）

<要旨>

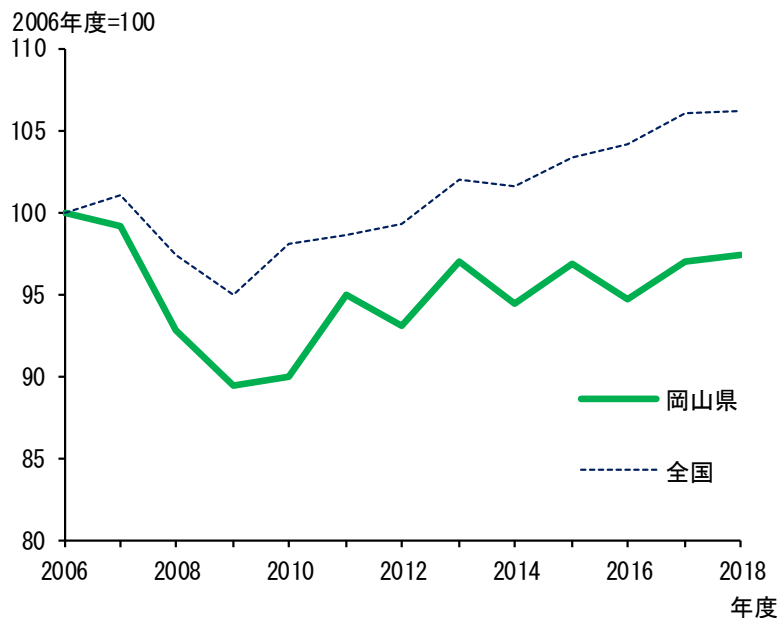
- 岡山県（以下、当県）のGDPは、リーマン・ショック後の落ち込みから回復してきたが、そのペースは緩やかである。こうしたもと、本稿では、労働力・資本・生産性の各要素にプラス作用する点において、一段のGDP上昇を図るうえで有効な取り組みの一つとなる「企業誘致」に着目し、当県の動向や特徴、誘致面での強みを整理する。
- 当県の企業誘致の動向を整理すると、2017年度から2019年度までは、景気拡大のもとで産業団地の造成等も重なったため、投資予定総額が高水準で推移した。2020年度は、コロナ禍のもとでの企業の収益悪化や投資抑制もあって、大幅に減少したが、2021年度は、企業収益が改善するもとで、前年度からの先送り投資案件も重なり、増加に転じている。先行きについても、当県では、2021年に策定した計数目標を充足するべく、企業ニーズに応じたきめ細かい支援や立地環境の整備により、県内の生産・雇用への誘発効果が期待できる企業を幅広く誘致する方針にある。
- 企業誘致の分野で一定の成果が上がっている背景に存在する、当県の企業誘致面の強みとしては、(1)陸・海・空での交通アクセスの利便性、(2)製造業の集積、(3)恵まれた地理的条件、(4)居住環境の良さ、といった点を指摘できる。
- 当県の企業誘致の特徴を整理すると、上記の(1)～(4)の強みを活かし、倉庫・物流センターや製造業の工場、太陽光発電所、データセンターなどの立地が目立つ。実際に、当県への立地を決めた企業からも、そうした強みを評価する声が聞かれている。
- 今後は、近年の社会的要請・課題の変化に対応すべく、事業所や工場等の立地ニーズが変化・拡大する可能性がある。例えば、コロナ禍のもとでの宅配需要の増加を取り込むべく、倉庫や物流センターの新設が加速する可能性がある。また、地震等の災害リスクへの意識の高まりやコロナ禍での原材料・部品調達環境の不安定化を受けて、BCPの観点から、サプライチェーンの分散を企図した工場の立地も考えられる。更には、脱炭素化の流れのもとで太陽光やバイオマスといったクリーンなエネルギーを用いた発電設備の立地や、デジタル化の進展を背景としたデータセンターの新設ニーズ拡大なども予想されるほか、テレワーク等の働き方の多様化が進展していることは、（第2の）オフィス立地の要因となり得る。こうしたもと、当県が従来から有する強みを社会的要請への対応や課題の解決に結び付けていくことで、一層の企業誘致の進展が期待される。

1. はじめに

岡山県の経済動態と企業誘致の効果

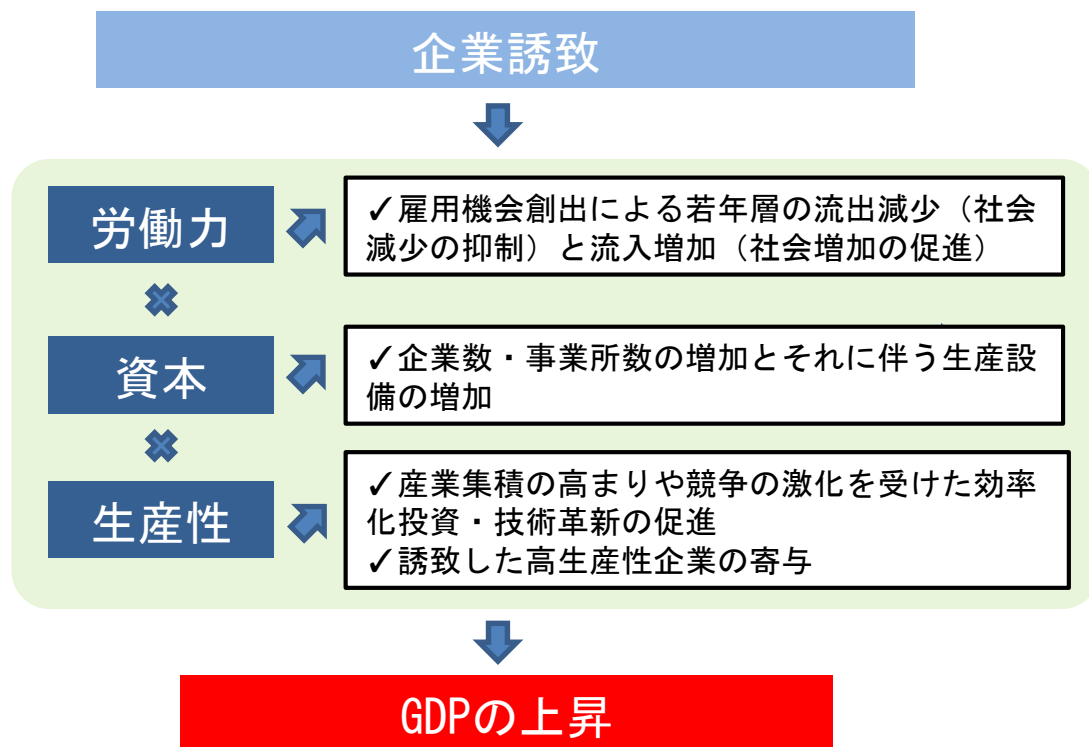
- ▶ 岡山県（以下、当県）のGDPは、リーマン・ショック後の落ち込みから回復してきたが、そのペースは緩やかである。
- ▶ こうしたもと、本稿では、労働力・資本・生産性の各要素にプラス作用する点において、一段のGDP上昇を図るうえで有効な取り組みの一つとなる「企業誘致」に着目し、当県の動向や特徴、誘致面での強みを整理する。

▽実質GDP（岡山県、全国）



(資料) 岡山県、内閣府

▽企業誘致の効果（概念図）

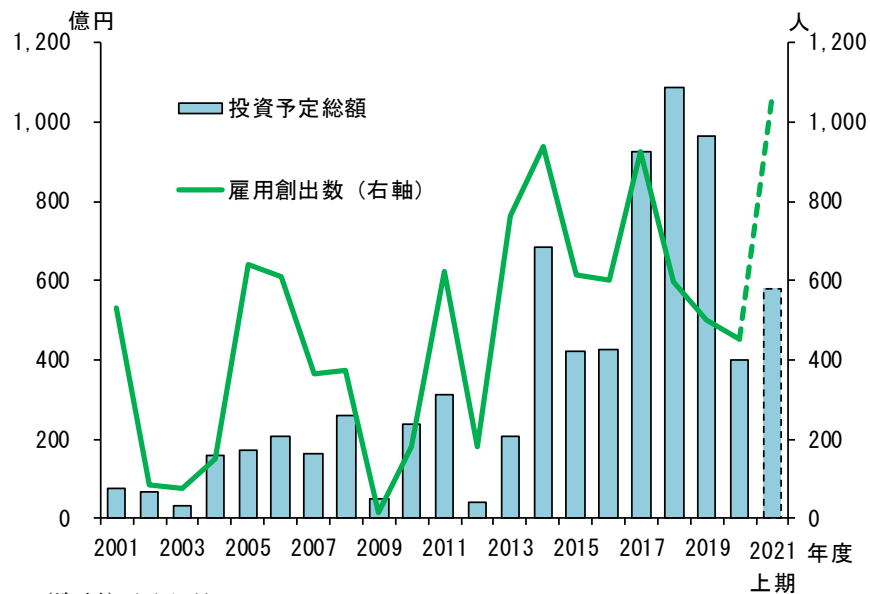


2. 企業誘致の動向

(1) 企業誘致の動向（岡山県）

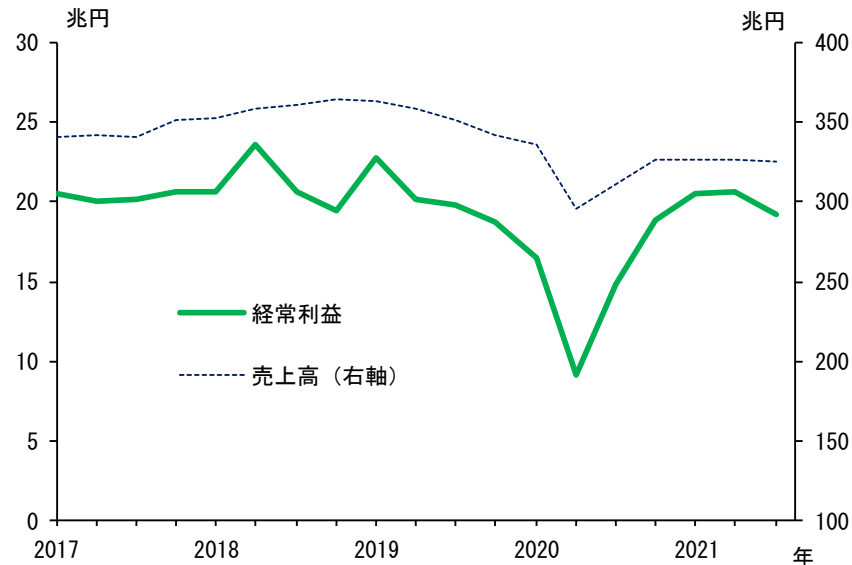
- 当県の企業誘致の動向を整理すると、2017年度から2019年度までは、景気拡大のもとで産業団地の造成等も重なったため、投資予定総額が高水準で推移した。
- 2020年度は、コロナ禍のもとでの企業の収益悪化や投資抑制もあって、大幅に減少したが、2021年度は、企業収益が改善するもとの、前年度からの先送り投資案件も重なり、増加に転じている。

▽企業立地にかかる投資予定総額・雇用創出数（岡山県）



(資料) 岡山県

▽企業収益（全国）



(資料) 財務省

(注) いずれも季節調整済計数、金融業・保険業を除く全産業。

2. 企業誘致の動向

(2) 企業誘致の動向（他県との比較、先行き）

- 他県と比較する観点から、工場立地件数をみると、当県は中四国地方内でトップクラスで推移している。
- 先行きについても、当県では2021年に策定した計数目標を充足するべく、企業ニーズに応じたきめ細かい支援や立地環境の整備により、県内の生産・雇用への誘発効果が期待できる企業を幅広く誘致する方針にある。

▽中四国地方の工場立地件数（2011年～2020年）

(件)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	10年累計
岡山県	13	8	6	21	21	15	17	25	22	12	160
鳥取県	10	8	9	12	7	9	11	7	3	2	78
島根県	8	3	5	5	3	4	4	3	7	1	43
広島県	13	12	14	27	26	17	12	13	7	10	151
山口県	6	9	16	15	12	10	7	9	11	10	105
徳島県	12	4	5	6	6	4	6	8	6	10	67
香川県	12	5	8	11	14	16	15	12	15	12	120
愛媛県	9	8	3	13	13	23	28	11	14	12	134
高知県	6	1	5	8	11	11	6	6	5	3	62

(資料) 経済産業省

▽第3次晴の国おかやま生き生きプラン (企業誘致にかかる施策の方向性)

施策の方向性
「企業ニーズに応じたきめ細かい支援や立地環境の整備により、県内の生産・雇用への誘発効果が期待できる企業を幅広く誘致する」 (企業誘致・投資促進プログラムの頁より抜粋)

(新規立地企業等にかかる計数目標)

投資額	雇用創出数	敷地面積
2,800億円	2,000人	80.0ha

(資料) 岡山県

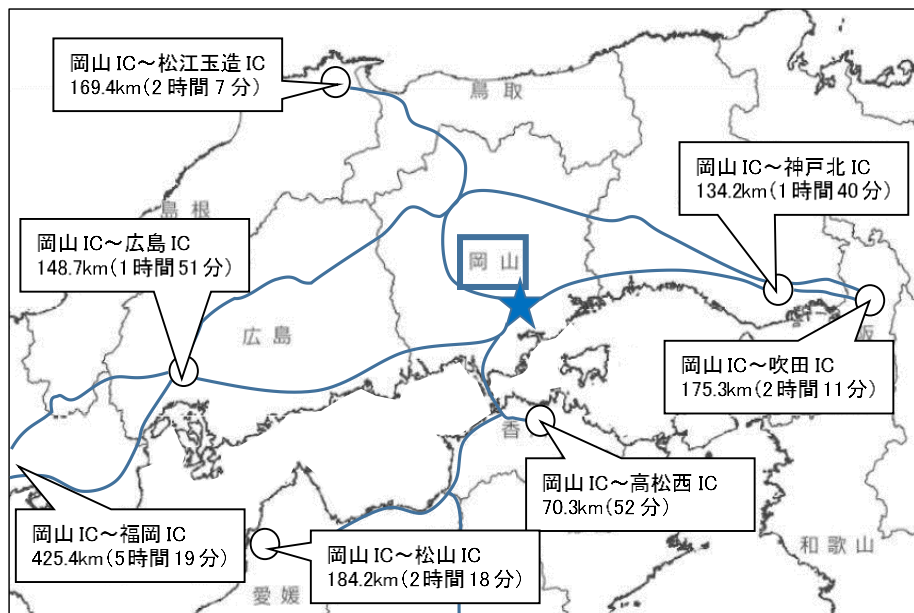
(注) 計数目標は、2021年度からの4年間累計。

3. 企業誘致面での強み

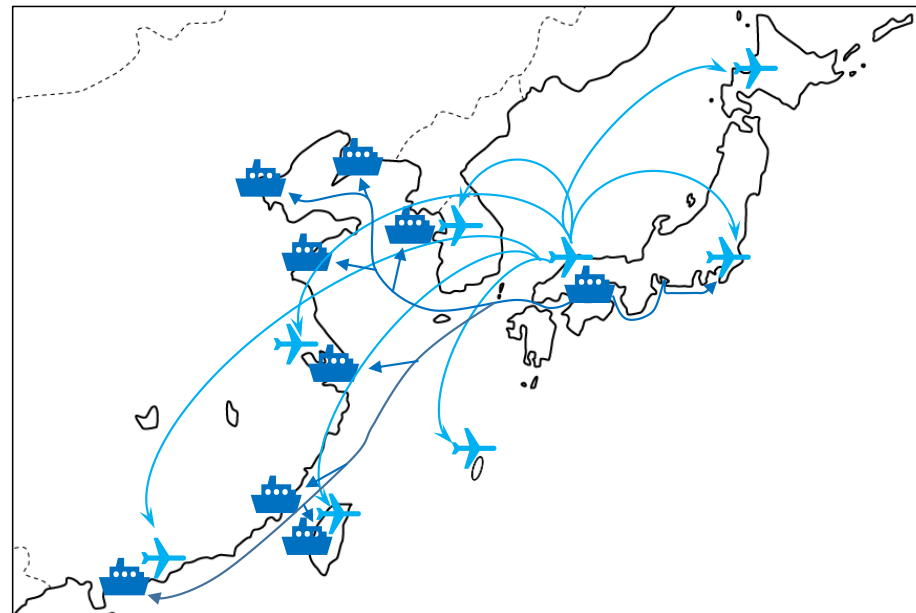
(1) 陸・海・空での交通アクセスの利便性

- 企業誘致の分野で一定の成果が上がっている背景に存在する、当県の企業誘致面での強みを整理すると、まず、陸・海・空での交通アクセスの利便性が挙げられる。当県は、東西に延びる2本の高速道路と、日本海から瀬戸内海を経て太平洋へ至る高速道路が県内2か所で交差する“西日本の陸上交通のクロスポイント”と言える。更に、最近では、環状型の高速道路網の構築を目指し、新道路の整備を進めている。
- 海路に関しては、水島港からアジア（韓国、中国、台湾）への直行が可能であり、定期コンテナ便で結ばれている。空路に関しても、岡山桃太郎空港からは東京や札幌、那覇へ直行可能であるほか、上海・ソウル・台北便もデイリー運行されており、アジアへのアクセスも便利である。

▽主な高速道路網（アクセス時間）



▽岡山からの主な海上コンテナ便、空路



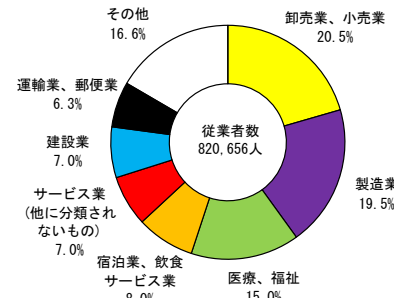
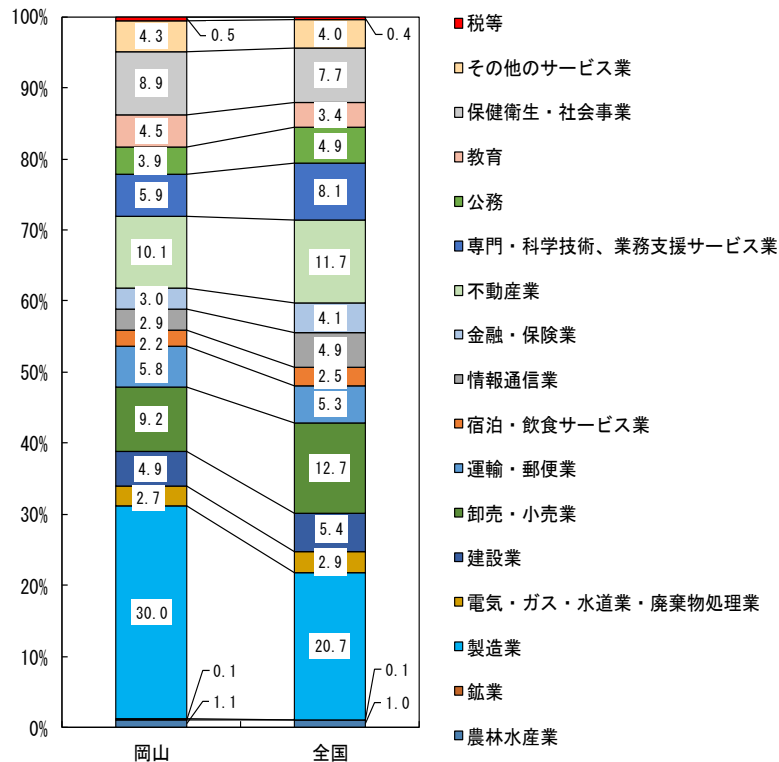
(注) ★で示した岡山ICから各ICまでの距離は、NEXCO西日本による。
所要時間は、当該距離を時速80kmで移動したと仮定し算出。

3. 企業誘致面での強み

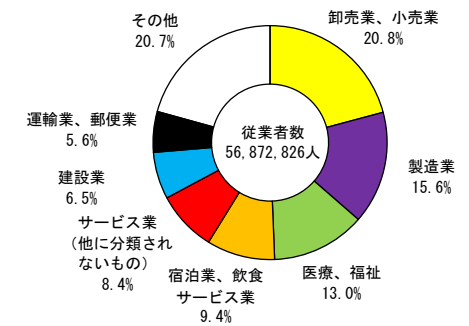
(2) 製造業の集積

➤ 水島臨海工業地帯に代表されるように、様々なメーカーの製造拠点が集積している点も強みである。当県GDPに占める製造業のウェイトは全国対比で高く、県内には、連携体組織が多数存在するなど、進出企業にとってはサプライチェーンが構築し易いというメリットがある。

▽経済活動別総生産（岡山県、全国） ▽産業別従業者数（岡山県、2016年） ▽産業別従業者数（全国、2016年）



(資料) 総務省



(資料) 総務省

▽県内製造業の主な連携体組織

ウイングウィン岡山	高度な技術力を有する企業で構成される組織。航空機関連部品の共同受注を目的としている。
メディカルネット岡山	岡山県内のマイクロものづくりネットワーク参加企業を中心とした組織。岡山県を次世代医療機器産業の拠点とすることを目的としている。
ウイングバレイ	自動車部品製造業が集積する工業団地。個別企業並びに地域全体としての競争力向上を目的としている。

(資料) 岡山県、内閣府

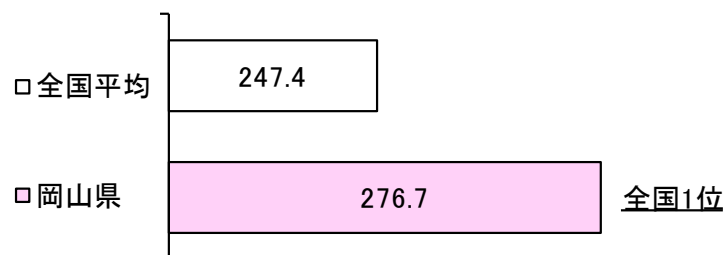
(注) 岡山県は2018年度、全国は2018年（暦年）の生産側、名目値。

3. 企業誘致面での強み

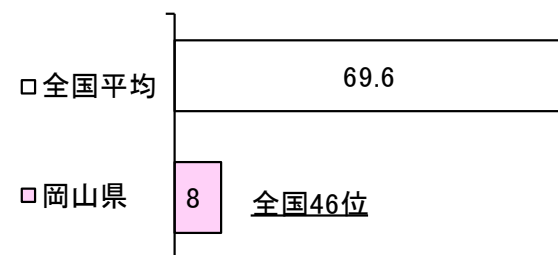
(3) 恵まれた地理的条件

- 当県は、温暖で雨が少ないため、気候上の事業制約が小さい点も立地上のメリットとなる。
- 降水量が少ないもとでも、三大水系（高梁川、旭川、吉井川）などの存在により、1日当たりの工業用水の給水能力は高い。
- 直下型地震の可能性が低い地域とも言われている。

▽降水量1mm未満の日数（2020年）



▽震度観測回数（2020年）



(資料) 岡山県

(注) 気象庁公表の2020年平年値（1991年から2020年の30年間の平均値）データから岡山県が算出したもの。

(資料) 気象庁

▽当県を流れる三大水系



(資料) 岡山県

▽工業用水量（淡水）（2016年）

全国順位	都道府県	工業用水量 (百万m ³ /日)	全国シェア (%)
1	愛知県	11.5	9.7
2	千葉県	10.6	9.0
3	山口県	9.3	7.8
4	兵庫県	9.1	7.7
5	岡山県	7.3	6.2

(資料) 総務省

▽活断層帯の分布（中四国地方）



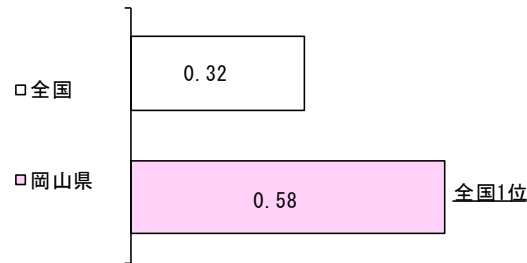
(資料) 防災科学技術研究所「J-SHIS Map」

3. 企業誘致面での強み

(4) 居住環境の良さ

- ▶ 従業員の生活に配慮する観点からは、居住環境の良さも、立地先を決めるうえでの重要な条件となる。この点、当県には充実した医療や教育の環境が存在している。また、大学等の教育環境を求めて集積した人材へのアクセスが容易という点で企業側にもメリットがある。
- ▶ 当県の南部には瀬戸内の多島美、北部には蒜山高原をはじめとする自然豊かな地域が広がっており、週末のレジャーや観光も魅力の一つである。更に、現在進行中の岡山市中心部の再開発により、高層マンションや商業施設、芸術劇場等が新たに建設され、街の魅力度が一段と高まることが予想される。

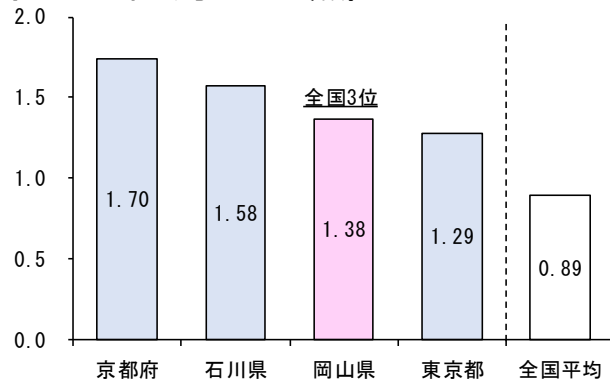
▽人口10万人当たりの大病院数（2019年）



(資料) 厚生労働省、総務省

(注) 病床数500以上の病院を大病院と定義。

▽人口10万人当たりの大学・短大数（2021年5月1日時点）



(資料) 文部科学省、総務省

▽岡山県の観光地

順位	観光地点	人数 (千人)
1	倉敷美観地区	3,283
2	後楽園・岡山城周辺	2,404
3	蒜山高原	2,239
4	玉野・渋川	2,127
5	吉備路	1,473
6	津山・鶴山公園	1,316
7	児島・鷺羽山	1,310
8	笠岡・笠岡諸島	1,250
9	美作・湯郷温泉	815
10	JR岡山駅周辺	781

(資料) 岡山県

(注) 2019年の観光入込客数。

▽岡山市内の主な再開発案件

立地	概要
岡山市北区下石井二丁目 (杜の街グレース)	商業施設跡地の広大な敷地を活かし、緑の潤いを中心に、住宅棟・商業棟・オフィス棟が揃う複合開発プロジェクト。
岡山市北区表町三丁目	劇場やスタジオ等を持つ文化芸術施設（岡山芸術創造劇場ハレノワ）のほか、住宅、店舗を設ける。
岡山市北区蕃山町1番	柳川ロータリーを中心とした区画に、商業施設、子育て支援施設、住宅施設等を設ける。
岡山市北区野田屋町一丁目	西川緑道公園筋に面した区画に、マンションおよび高層ホテルや商業施設を設ける。
岡山市北区駅前町一丁目 (OKAYAMA GATE PLACE)	岡山駅東口エリアに、住宅、ホテル、コンベンション施設などの拠点機能を形成し、岡山市のランドマークを目指す。

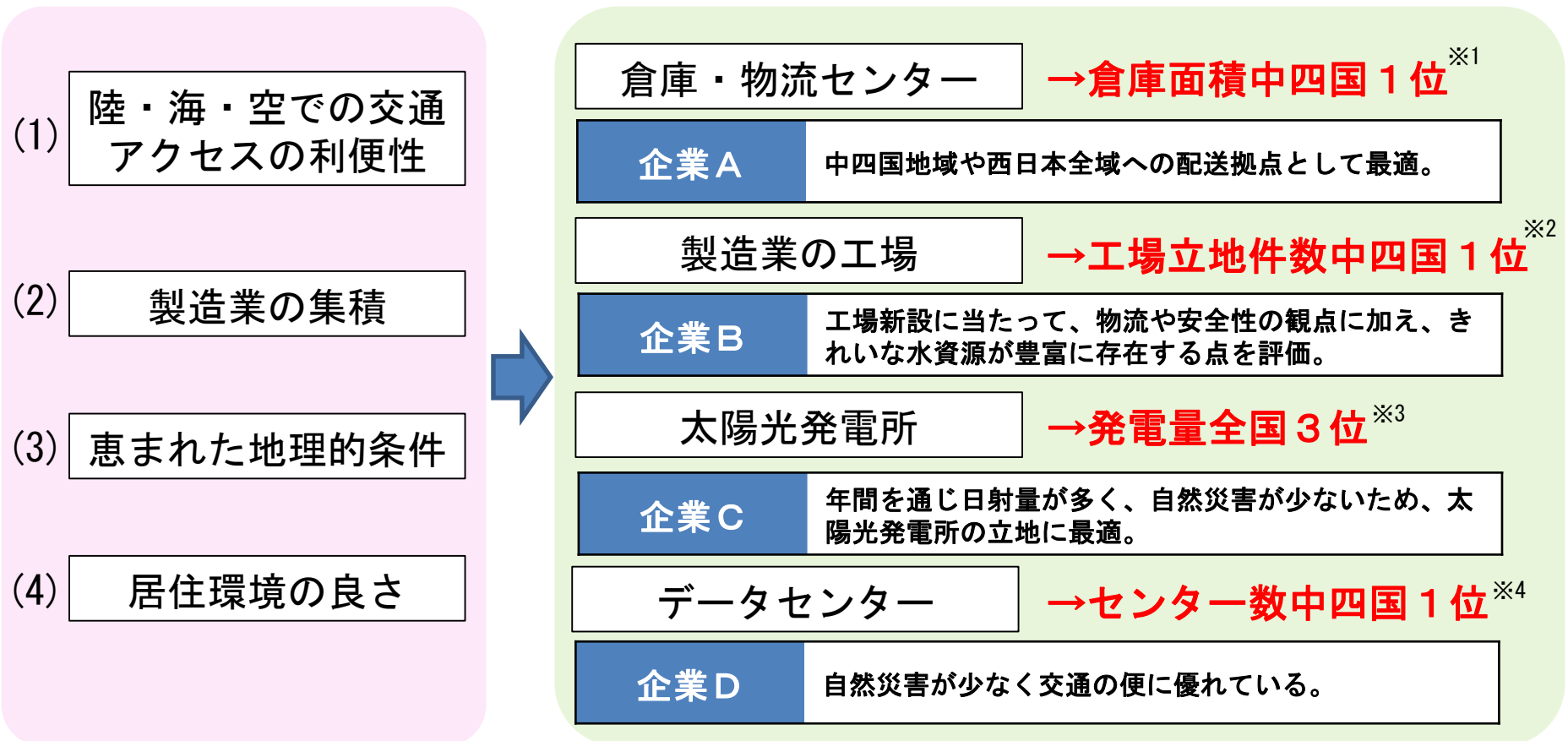
4. 企業誘致の特徴

企業誘致の特徴（岡山県）

- 当県の企業誘致の特徴を整理すると、先述の(1)陸・海・空での交通アクセスの利便性、(2)製造業の集積、(3)恵まれた地理的条件に加え、(4)居住環境の良さも相俟って、倉庫・物流センターや製造業の工場、太陽光発電所、データセンターなどの立地が目立つ。実際に、当県への立地を決めた企業からも、そうした強みを評価する声が聞かれている。

岡山県の強み

実績のある分野・企業からの声



※1…（資料）中国運輸局、四国運輸局、（注）2020年3月末時点。

※3…（資料）資源エネルギー庁、（注）2020年度。

※2…（資料）経済産業省、（注）2011年～2020年の10年間累計。

※4…（資料）日本データセンター協会、（注）2022年1月25日時点。

5. 今後の展望

社会的要請・課題と期待される企業誘致

- 今後は、近年の社会的要請・課題の変化に対応すべく、事業所や工場等の立地ニーズも変化・拡大することが予想される。
- 例えば、コロナ禍のもとでの宅配需要の増加を取り込むべく、倉庫や物流センターの新設が加速する可能性がある。また、地震等の災害リスクへの意識の高まりやコロナ禍での原材料・部品調達環境の不安定化を受けて、BCPの観点から、サプライチェーンの分散を企図した工場の立地も考えられる。更には、脱炭素化の流れのもとで太陽光やバイオマスといったクリーンなエネルギーを用いた発電設備の立地や、デジタル化の進展を背景としたデータセンターの新設ニーズ拡大なども予想されるほか、テレワーク等の働き方の多様化が進展していることは、(第2の) オフィス立地の要因となり得る。
- こうしたもと、当県が従来から有する強みを社会的要請への対応や課題の解決に結び付けていくことで、一層の企業誘致の進展が期待される。

岡山県の強み

- (1) 陸・海・空での交通アクセスの利便性
- (2) 製造業の集積
- (3) 恵まれた地理的条件
- (4) 居住環境の良さ



社会的要請・課題

- 宅配需要の増加
- 災害リスクへの意識
- サプライチェーン分散
- 脱炭素化・SDGs
- デジタル化
- 働き方の多様化



期待される企業誘致

- 倉庫・物流センター
- 製造業の工場
- 太陽光・バイオマス発電所
- データセンター
- (第2の) オフィス